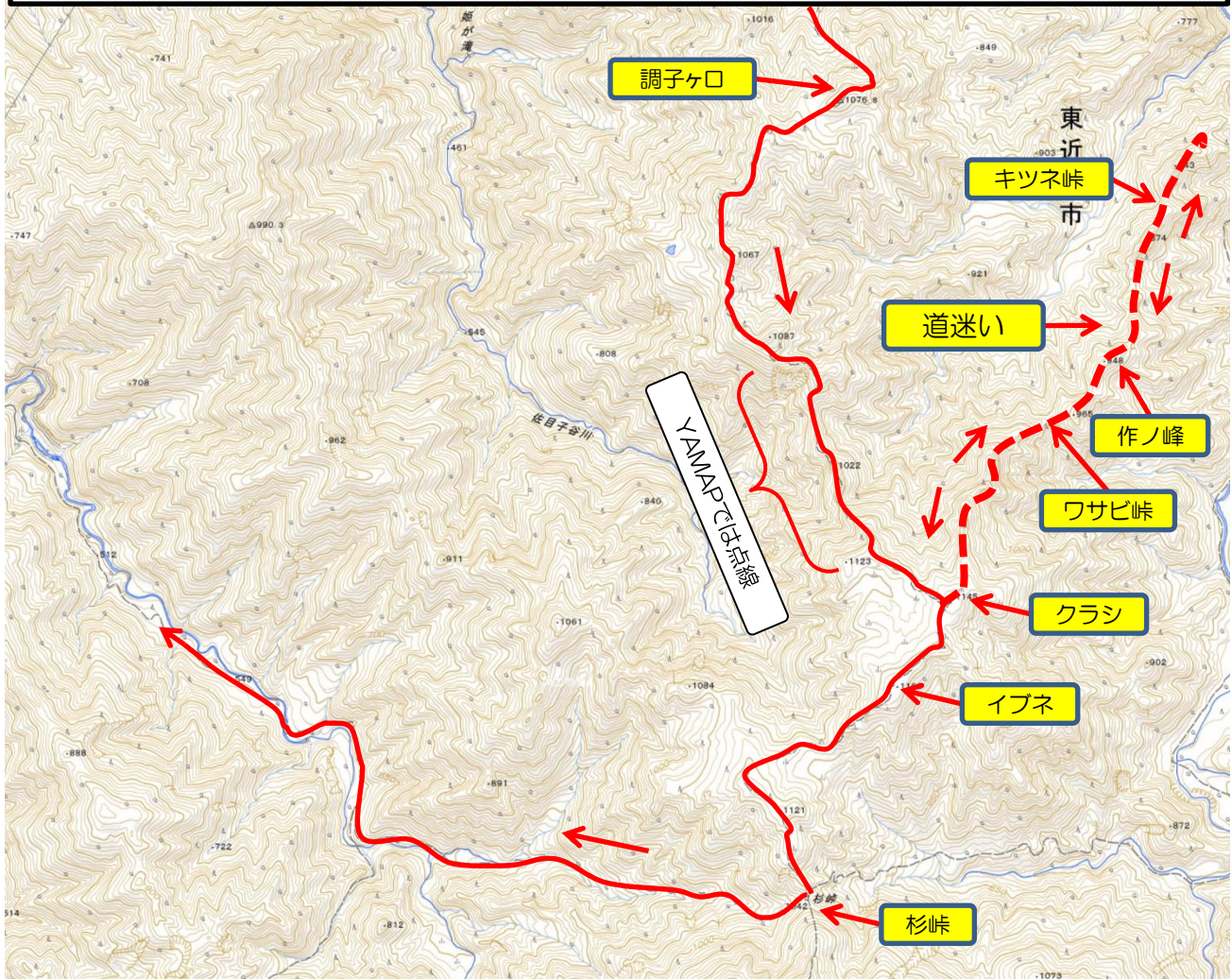


イブネ道迷い(2021年6月)

調子ヶ口山頂往復の計画を行動が思ったよりも早かったためイブネまで足を延ばす。イブネで道迷いし、水が無くなり更に計画変更し杉峠から下山。元の登山口に23:30到着した。



解説

調子ヶ口までは、調子よく歩け、欲を出してイブネまで行くことに登山計画変更。調子ヶ口からイブネまでは、YAMAPでは点線で時間がかかった。イブネから来た道に戻るときに直進してしまい道に迷い、キツネ峠方面まで行ってしまった。

「来た道の登り返しは、大変だから嫌だ」、「神崎川に下れば、道があるようだ」、「歩いたことのない沢を歩けるのか」、「水が切れそう。沢に下れば水はある」色々な考えが頭を回りましたがキツネ峠で、いよいよマーキングが発見できなくなり、ようやく登り返すことにしました。(中略)既に熱中症気味で、数歩進んでは荒い呼吸を繰り返してといった状態でした。そして水を飲み切ってしまう。なんとかイブネに戻れたものの水の確保が最優先事項になってしまいました。水場は、一番近いところが杉峠です。(HP参照)

登山計画の変更で道迷い遭難をおこす事例は多い。計画の変更により思わぬ「時間的な焦り」、「来た道の登り返しは嫌だ」、「歩いたことのない沢を歩けるのか？」と不安が増し、冷静さを失ってしまう。今回の事例は、駐車場までの残り10Kmは地元の方の車に乗せてもらっているが、これが無ければ更に到着時間は遅くなってしまった。